

2014年の台風

台風の発生数は平年より少ない23個だが、日本への上陸数は最近10年で最も多い4個

1. 概要

台風の発生数は平年より少ない23個（平年値25.6個）であった。

日本への台風の接近数は平年並の12個（平年値11.4個）であった。上陸数は2004年に10個上陸した後は3個以下で推移していたが、2014年は台風第8号、第11号、第18号、第19号の4個（平年値2.7個）と平年を上回った。

第1表に台風の発生数、上陸数、接近数を、第2表に発生した台風の一覧を示す。

2. 日本に影響を及ぼした主な台風

日本に影響した台風（本稿では台風の中心が日本から概ね500 km に入った場合とする）のうち、主な台風について以下に概要を示す。また、時刻については、全て日本時で表記した。第3表に日本に影響した台風の一覧、第1図にその経路図を示す。

(1) 台風第6号 (1406 MITAG)

6月9日09時に台湾の南の海上で発生した熱帯低気

圧は東へ進んだ後、東北東へ進み、11日09時に沖縄の南海上で台風第6号となり、同日15時に同海域で勢力が最大となった。その後、台風第6号は北東に進み、12日09時に本州の南で温帯低気圧となり、同日15時に消滅した。

(2) 台風第7号 (1407 HAGIBIS)

6月13日09時に台湾の南西の海上で発生した熱帯低気圧は北東へ進んだ後、北へ進路を変え、14日09時に同海域で台風第7号となり、勢力が1度目の最大となった。台風第7号は進行方向と勢力を維持し、華南に上陸した後、16日03時に同地域で熱帯低気圧となった。その後、同日中に熱帯低気圧は北東に進路を変え、17日09時に東シナ海で再び台風第7号となった。台風第7号は、17日15時に沖縄本島の北西の海上で再び勢力が最大となった後、17日21時に奄美大島の北の海上で、熱帯低気圧となった。熱帯低気圧は18日03時に四国の南の海上で温帯低気圧となり、東に進んだ。その後、温帯低気圧は徐々に北東に進路を変え、23日09時前に東経180度を越えた。

第1表 平成26年(2014年)の台風発生数、日本への上陸数*1、日本への接近数*2と平年値及び平成25年(2013年)との比較。

項目	月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												年間
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
平年値	発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
	上陸数					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
	接近数				0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4
平成25年 (2013年)	発生数	1	1					4	3	6	7	7	2	31
	上陸数										2			2
	接近数							2	1	2	4	6		14
平成26年 (2014年)	発生数	2	1		2		2	5	1	5	2	1	2	23
	上陸数								1	1	2			4
	接近数						2	3	2	3	2	1		12

(注)・平年値は、昭和56年(1981年)～平成22年(2010年)の30年平均。

・日本への接近は2か月以上にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

上陸*1 台風が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を「上陸」という。小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は「通過」とする。

接近*2 台風が中心が、日本から概ね300 km 以内に入った場合を「接近」という。

第2表 平成26年(2014年)に発生した台風の一覧表。

台風番号	台風名	熱帯低気圧の発生		台風の発生		台風期間中の最低(大)値			熱帯低気圧または温帯低気圧となった日時と位置		消滅前の最後に確認された日時と位置,又は域外に出た最初の日時			
		月日時	北緯 東経	月日時	北緯 東経	海面気圧 hPa	風速 m/s	月日時	km	月日時	北緯 東経	月日時	北緯 東経	
1	LINGLING	1 15 09	9.6 129.2	1 18 09	9.7 127.4	1 18 15	1002	1 20 03	NW:370 SE:170	1 20 09	7.2 128.3	TD	1 20 15	6.3 129.0
2	KAJIKI	1 29 09	9.5 143.1	1 31 09	9.7 130.3	1 31 21	1000	2 1 09	NW:330 SE:170	2 1 15	11.2 120.0	TD	2 1 21	11.0 118.0
3	FAXAI	2 27 21	8.7 147.8	2 28 21	8.6 148.5	3 5 03	975	3 5 03	N:390 S:280	3 6 03	22.2 155.0	L	3 8 15	26.2 168.0
4	PEIPAH	4 3 03	1.8 148.4	4 5 09	4.3 140.4	4 5 15	998	4 5 15	NW:220 SE:170	4 5 21	5.2 138.8	TD	4 8 09	6.8 131.6
5	TAPAH	4 27 09	10.1 146.5	4 28 09	12.5 147.0	4 30 09	985	4 30 09	E:190 W:110	5 1 09	21.3 145.3	TD	5 2 15	24.9 145.2
6	MITAG	6 9 09	21.0 120.0	6 11 09	23.4 125.9	6 12 03	994	6 12 03	SE:280 NW:130	6 12 09	28.8 135.9	L	6 12 09	28.8 135.9
7	HAGIBIS	6 13 09	18.8 116.0	6 14 09	20.6 117.0	6 17 15	996	6 17 15	330	6 17 21	29.2 130.0	TD	6 23 09	域外
8	NEOGURI	7 2 21	8.4 146.8	7 4 03	11.4 143.3	7 7 09	930	7 7 09	E:700 W:440	7 11 09	37.0 142.0	L	7 13 15	53.7 149.5
9	RAMMASUN	7 9 15	8.0 154.3	7 12 15	13.4 142.7	7 18 15	935	7 18 21	300	7 20 03	22.7 104.4	TD	7 20 09	23.0 103.6
10	MATMO	7 16 15	10.0 136.8	7 17 21	10.1 135.4	7 22 21	965	7 22 21	E:560 W:280	7 25 15	36.0 122.0	L	7 26 09	39.6 125.8
11	HALONG	7 28 03	11.3 151.8	7 29 09	12.4 148.3	8 3 15	920	8 3 15	S:700 N:390	8 11 09	43.0 137.0	L	8 15 09	47.0 151.9
12	NAKRI	7 28 15	17.4 133.6	7 29 21	18.8 130.2	8 2 21	980	8 1 21	650	8 3 15	35.2 125.4	TD	8 4 09	35.9 126.7
13	GENEVIEVE	域外		8 7 15	14.4 180.0	8 8 15	915	8 8 15	E:330 W:190	8 12 15	35.1 166.0	TD	8 14 15	39.1 171.3
14	FENGSHEN	9 5 21	20.3 127.6	9 7 03	26.3 128.8	9 9 15	975	9 9 15	SE:500 NW:280	9 11 03	39.7 163.6	L	9 11 09	40.5 168.0
15	KALMAEGI	9 12 03	13.5 134.0	9 12 15	13.7 131.2	9 16 15	960	9 16 15	SE:750 NW:390	9 17 21	22.4 101.8	TD	9 18 03	21.6 100.8
16	FUNG-WONG	9 17 09	12.6 135.0	9 17 21	12.7 131.3	9 21 15	985	9 22 03	500	9 24 09	33.0 125.0	L	9 25 09	37.5 138.5
17	KAMMURI	9 23 21	17.9 149.6	9 24 21	20.0 149.6	9 30 09	985	9 27 15	N:650 S:500	9 30 15	39.2 160.0	L	10 2 03	域外
18	PHANFONE	9 28 15	11.0 157.1	9 29 15	13.0 151.0	10 5 00	935	10 5 00	560	10 6 21	39.0 147.0	L	10 8 09	域外
19	VONGFONG	10 2 21	7.3 162.1	10 4 03	9.0 156.2	10 8 21	900	10 8 21	SE:750 NW:650	10 14 09	39.0 143.2	L	10 16 21	域外
20	NURI	10 30 09	12.6 140.9	10 31 09	12.4 137.2	11 3 15	910	11 3 15	560	11 7 03	34.3 146.1	L	11 7 15	42.0 159.0
21	SINLAKU	11 26 09	8.4 128.0	11 28 09	11.2 117.3	11 29 09	990	11 30 03	N:220 S:170	11 30 15	13.3 107.9	TD	11 30 15	13.3 107.9
22	HAGUPTI	11 30 21	2.6 156.0	12 1 09	4.1 153.4	12 5 03	905	12 5 03	N:600 S:280	12 11 15	13.1 112.5	TD	12 12 15	9.2 109.2
23	JANGMI	12 28 09	7.4 128.7	12 28 21	8.2 127.2	12 30 03	996	12 30 03	N:280 S:170	12 30 21	9.4 122.1	TD	1 1 21	6.4 117.5

表中の日はすべて日本時(JST)。

「台風期間中の最低(大)値」の起時は、最低(大)となった最後の時刻である。

(但し、風速はノットで解析し、5 m/s単位に換算しているため必ずしもこれに当てはまらない事がある。)

強風域とは、台風の周辺で平均風速がおおむね15 m/s以上の領域。

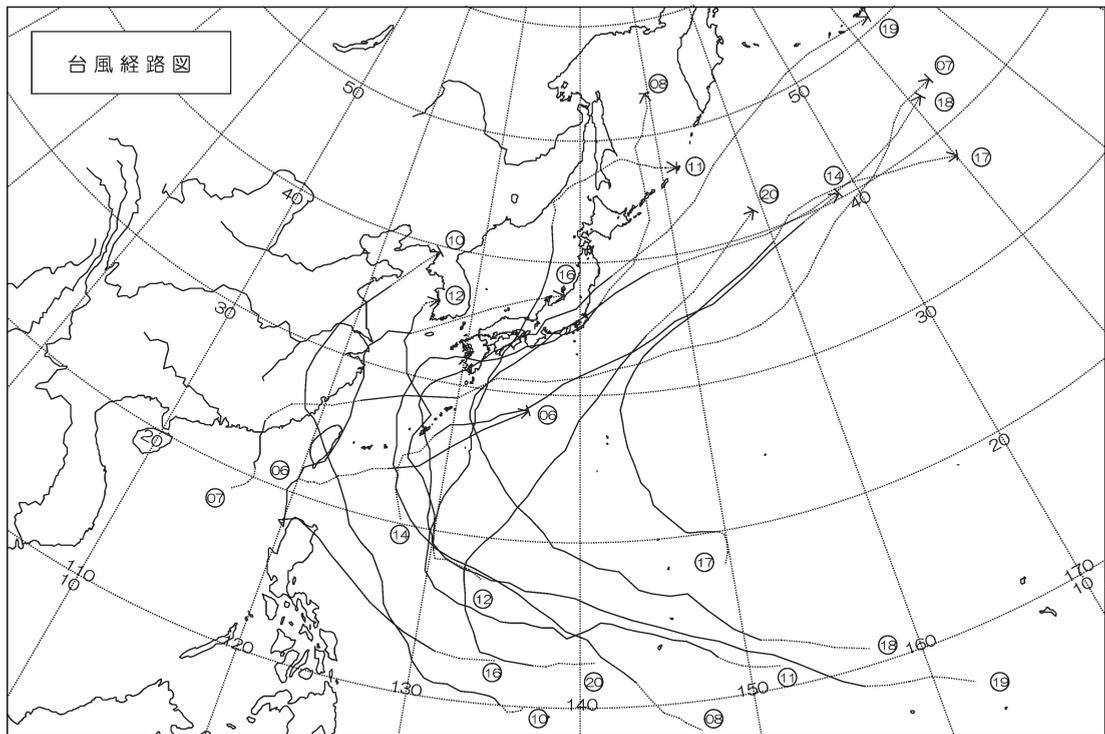
種類欄の「TD」は熱帯低気圧、「L」は温帯低気圧を表す。

域外とは、日行変更線(東経180°)より東側、東経100°より西側、又は北緯60°より北側の領域。

第3表 平成26年(2014年)に日本に影響した台風の概要表(熱帯低気圧, 温帯低気圧の期間は除く)。

台風 番号	日本への影響 (台風の中心が日本から概ね500 km 以内に入った場合)			日本への接近 (台風の中心が日本から概ね300 km 以内に入った場合)			上陸, 通過
	月日		地域	月日		地域	
	始	終		始	終		
6	6/11	6/12	沖縄・奄美, 九州南部	6/11	6/12	沖縄・奄美	上陸または通過せず。
7	6/17	6/17	沖縄・奄美, 九州南部, 九州北部地方	6/17	6/17	沖縄・奄美, 九州南部	上陸または通過せず。
8	7/7	7/11	沖縄・奄美, 西日本, 東日本, 東北地方	7/7	7/11	沖縄・奄美, 西日本, 東日本, 東北地方	7月10日07時前, 鹿児島県阿久根市付近に上陸した。 7月10日18時半頃, 和歌山県南部に再上陸した。 7月11日02時半頃, 静岡県伊豆半島南部を通過した。 7月11日05時前, 千葉県富津市付近に再上陸した。
10	7/22	7/24	沖縄	7/22	7/23	沖縄	上陸または通過せず。
11	8/6	8/11	沖縄・奄美, 西日本, 東日本, 北日本	8/6	8/11	沖縄・奄美, 西日本, 東海地方, 関東甲信, 北陸, 北日本	10日06時過ぎ, 高知県安芸市付近に上陸した。 10日11時前, 兵庫県姫路市付近に再上陸した。
12	7/30	8/3	沖縄・奄美, 九州南部, 九州北部地方	7/31	8/1	沖縄・奄美	上陸または通過せず。
14	9/7	9/9	沖縄・奄美, 九州南部, 四国, 近畿, 東海地方, 関東甲信, 伊豆諸島・小笠原諸島	9/7	9/9	沖縄・奄美, 伊豆諸島・小笠原諸島	上陸または通過せず。
16	9/21	9/24	沖縄, 九州北部地方	9/21	9/22	沖縄	上陸または通過せず。
17	9/26	9/28	伊豆諸島・小笠原諸島	9/27	9/28	伊豆諸島・小笠原諸島	上陸または通過せず。
18	10/3	10/6	沖縄・奄美, 西日本, 東日本, 北日本	10/4	10/6	沖縄・奄美, 西日本, 東日本, 東北地方	6日08時頃, 静岡県浜松市付近に上陸した。 6日09時半頃, 静岡県沼津市付近に再上陸した。
19	10/10	10/14	沖縄・奄美, 西日本, 東日本, 北日本	10/11	10/14	沖縄・奄美, 西日本, 東日本, 東北地方	12日00時半頃, 沖縄本島付近を通過した。 13日08時半頃, 鹿児島県枕崎市付近に上陸した。 13日14時半頃, 高知県宿毛市付近に再上陸した。 13日19時半頃, 兵庫県淡路島付近を通過した。 13日20時過ぎ, 大阪府泉佐野市付近に再上陸した。
20	11/5	11/7	関東甲信, 伊豆諸島・小笠原諸島	11/6	11/6	伊豆諸島・小笠原諸島	上陸または通過せず。

台風の中心が日本から概ね300 km 以内に入った場合を「日本に接近した台風」とした。
台風の中心が日本から概ね500 km 以内に入った場合を「日本に影響した台風」とした。



丸で囲った数字は台風番号である。→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。

第1図 2014年に日本に影響を及ぼした台風の経路図。

(3) 台風第8号 (1408 NEOGURI)

7月2日21時にマリアナ諸島の南の海上で発生した熱帯低気圧は、北西へ進んだ後、4日03時に同海域で台風第8号となった。台風は急速に発達しながら北西に進み、7日03時に勢力が最大となった。台風は徐々に進路を北に変え、8日に宮古島と久米島の間を通過した後、東に進路を変え、10日07時前に鹿児島県阿久根市付近に上陸した。台風はその後東に進み、同日18時半頃に和歌山県南部に上陸した後、11日02時半頃に静岡県伊豆半島南部を通過し、同日05時前に千葉県富津市付近に上陸した。その後、台風は徐々に進路を北に変え、同日09時に温帯低気圧に変わり、13日21時にオホーツク海で消滅した。

(4) 台風第10号 (1410 MATMO)

7月16日15時にパラオ諸島の北東の海上で発生した熱帯低気圧は西へ進み、17日21時に同海域で台風第10号となった。台風は北西に進路を変え、21日09時にフィリピンの東の海上で勢力が最大となった。台風はその後、22日夜から23日朝にかけて台湾を通過した

後、北北東に進路を変え、25日15時に黄海で温帯低気圧となり、26日15時に朝鮮半島北部で消滅した。

(5) 台風第11号 (1411 HALONG)

7月28日03時にチューク諸島の北の海上で発生した熱帯低気圧は、北西へ進み、29日09時にグアム島の東の海上で台風第11号となった。台風は31日に西に進路を変えた後、8月2日21時にヤップ島の北の海上で勢力が最大となった。その後、台風は4日に北へ進路を変え、7日に南大東島の東の海上を通り、8日に北東に進路を変え、10日06時過ぎに高知県安芸市付近に上陸した。台風は同日11時前に兵庫県姫路市付近に再上陸した後、近畿地方を北東に進み、同日午後日本海に達した。その後台風は北に進み、11日09時に同海域で温帯低気圧に変わり、12日に東に進路を変えてサハリンを通過した後、15日15時に千島付近で消滅した。

(6) 台風第12号 (1412 NAKRI)

7月28日15時にフィリピンの東の海上で発生した熱帯低気圧は、西へ進んだ後、北へ進路を変え、29日21

時に同海域で台風第12号となった。台風は30日に徐々に北西に進路を変え、31日には北東に進路を変えて東シナ海に入った。台風は再び北西に進路を変え、8月1日09時に沖縄本島の北の海上で勢力が最大となった。その後、台風は2日には速度を落としながら北東に進み、3日15時に黄海で熱帯低気圧に変わり、4日15時に朝鮮半島で消滅した。

(7) 台風第14号 (1414 FENGSHEN)

9月5日21時に沖縄の南海上で発生した熱帯低気圧は、北へ進んだ後、北東へ進路を変え、7日03時に沖縄本島の東の海上で台風第14号となった。台風は北東へ進みながら、8日15時に本州の南の海上で勢力が最大となった。その後、台風は加速しながら北東へ進み、11日03時に日本のはるか東の海上で温帯低気圧に変わり、同日15時に消滅した。

(8) 台風第16号 (1416 FUNG-WONG)

9月17日09時にフィリピンの東の海上で発生した熱帯低気圧は、西へ進んだ後、徐々に北西に進路を変え、同日21時に同海域で台風第16号となった。台風は北西へ進みながら19日にルソン島北部に上陸し、同日15時にルソン海峡で勢力が最大となった。台風は、ルソン島の西の海上で反時計周りに円を描くように進んだ後、北に進んだ。その後台風は、台湾の東の沿岸に沿って進み、21日夜から22日朝にかけて東シナ海に入り、23日に中国東部に上陸した後、東に進路を変えた。台風は、24日09時にチェジュ島の西の海上で温帯低気圧に変わった後、日本海に進み、25日15時に本州付近で消滅した。

(9) 台風第17号 (1417 KAMMURI)

9月23日21時にマリアナ諸島の東の海上で発生した熱帯低気圧は、北へ進んだ後、西へ進路を変え、24日21時に同海域で台風第17号となった。台風はその後北西へ進路を変え、26日21時に小笠原諸島の南東の海上で勢力が最大となった。台風は、27日に同諸島の東の海上を北に進んだ後、28日には加速しながら北東に進んだ。台風は、30日15時に日本のはるか東の海上で温帯低気圧に変わった後東に進み、10月2日03時前に東経180度を越えた。

(10) 台風第18号 (1418 PHANFONE)

9月28日15時にチューク諸島の北西の海上で発生した熱帯低気圧は、北西へ進んだ後、29日15時にグアム島の東の海上で台風第18号となった。台風は北西へ進みながら、10月2日15時に沖ノ鳥島の東の海上で勢力が最大となった。台風はその後北西へ進みながら、4日に南大東島の東の海上を進み、5日には進路を北東に変え加速した。台風はその後、6日08時頃に静岡県浜松市付近に上陸し、同日09時半頃に静岡県沼津市付近に再上陸した後、関東地方を通り、日本の東海上で進路を東に変え、同日21時に同海域で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は東に進みながら、8日09時前にアリューシャン列島の南の海上で東経180度を越えた。

(11) 台風第19号 (1419 VONGFONG)

10月2日21時にマーシャル諸島の西の海上で発生した熱帯低気圧は、北西へ進んだ後、4日03時にポンペイ島の北西の海上で台風第19号となった。台風は北西へ進みながら急速に発達し、8日03時にフィリピンの東の海上で勢力が最大となった。その後、台風は北北西に進路を変え、12日00時半頃に沖縄本島付近を通過し、東シナ海で北東に進路を変えた。台風は13日08時半頃に鹿児島県枕崎市付近に上陸し、同日14時半頃に高知県宿毛市付近に再上陸した後、加速しながら北東に進み、同日19時半頃に淡路島付近を通過し、同日20時過ぎに大阪府泉佐野市付近に再上陸した。その後も台風は北東に進みながら、14日09時に三陸沖で温帯低気圧に変わり、16日21時前にアリューシャン列島付近で東経180度を越えた。

(12) 台風第20号 (1420 NURI)

10月30日09時にグアム島の西の海上で発生した熱帯低気圧は西へ進み、31日09時に同海域で台風第20号となった。台風は徐々に北北西に進路を変え、11月2日21時にフィリピンの東の海上で勢力が最大となり、北東に進路を変えた。その後、台風は加速しながら北東へ進み、7日03時に日本の東の海上で温帯低気圧に変わり、同日21時に千島列島の南東の海上で消滅した。
(気象庁予報部予報課)